

所属	看護学研究科 看護学専攻 修士課程 看護マネジメント分野	修了年度	平成 29 年度
氏名	中澤 美弥	指導教員 (主査)	土井 徹

論文題目	潜在看護職が望む復職支援研修に関する検討 ～研修実施率と受講生の要望度の関係～
------	--

本文概要

【目的】 都道府県ナースセンターに於いて実施されている復職支援研修の内容および実際と、潜在看護職が求めている復職支援研修の内容および方法に関して、両者の差異を明らかにする。

【方法】 47 都道府県ナースセンター（以下センター）と復職支援研修を受講した潜在看護職（以下受講生）を対象とした。センターに対しては、研修項目 56 項目の実施形態を、受講生に対しては、研修項目 56 項目の要望形態を調査し、両調査から研修項目別に研修での実施率と受講生の要望度の関係を調べた。統計処理は、統計パッケージ IBM SPSS ver24 を使用した。

目白大学大学院倫理審査委員会の承認を受け実施した。

【結果】 同意を得られたセンターは、28 センターであった（59.5%）。復職支援研修受講生への調査票配布に協力を得られたのは 9 センターであった（19.1%）。9 センターに参加予定者数の概算合計 253 部調査票を送付し、受講生より 79 部の回答があった（予定概数の 31.2%）。

研修実施項目を「未実施」「講義のみ」「演習のみ」「両方実施」に 4 分類し、単純集計と実施率を算出した。受講生要望項目の要望度の平均と標準偏差より、項目要望度を 4 分類（classification of demand degree of item :CDDI）した。

研修の実施率と受講生の要望度は、A；実施率も高く要望度も大きい研修項目、B；実施率は低いが要望度は大きい研修項目、C；実施率は高いが要望度は小さい研修項目、D；実施率も低く要望度も低い研修項目の 4 つに分類し、各群に属する項目を検討し、実施率と要望度が最も高い項目は「救急看護」である等の結果が得られた。

【考察】 A；実施率も高く要望度も大きい研修項目（救急看護、医療機器の取り扱い、フィジカルアセスメント、注射法、褥瘡予防対策、聴診法、注射実施時の看護師の役割、痰吸引、採血の方法等）は、実施を継続するとともに時期・実施場所等の善処が望まれ、B；実施率は低いが要望度は大きい研修項目（人工呼吸器管理、心電図の読み方、在宅酸素療法等）は今後の復職支援研修で重点項目としての検討が望まれる。

【Key words】

潜在看護職、ナースセンター、復職支援研修、研修実施率、研修要望度